

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2019年6月21日まで（2014年6月30日設定）
運用方針	<p>米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。原則として、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行います。組入れにあたっては、投資適格社債中心に投資を行います。ただし、信託期間内に組入債券が償還した場合等には、米国債等に再投資することがあります。そのため、米国企業が発行する米ドル建ての社債の組入比率が低下することがあります。</p> <p>債券等の運用にあたっては、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>
主要運用対象	米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とします。
主な組入制限	<p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合に制限を設けません。</p>
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

米国社債ファンド （為替ヘッジあり）2014-06

愛称：アメリカン・コレクション



信託終了日：2019年6月21日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「米国社債ファンド（為替ヘッジあり）2014-06」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 利益回り	債組入 比率	債券先 物比率	元残 存率
		税金 分配	み 期騰 落	中 額騰 落				
(設定日) 2014年6月30日	円 銭 10,000		円 —	円 銭 —	% —	% —	% —	% 100.0
1期(2015年6月24日)	9,785		0	△215	△2.2	97.8	—	94.7
2期(2016年6月24日)	9,803		0	18	0.2	△1.0	—	86.3
3期(2017年6月26日)	9,945		0	142	1.4	△0.2	—	70.4
4期(2018年6月25日)	9,839		0	△106	△1.1	△0.4	—	55.1
(償還時) 5期(2019年6月21日)	(償還価額) 9,749.24		—	△ 89.76	△0.9	△0.5	—	38.2

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		債組入 比率	債券先 物比率	債券 率
		騰	落			
(期首) 2018年6月25日	円 銭 9,839		% —	% 95.7	% —	% —
6月末	9,838		△0.0	96.0	—	—
7月末	9,842		0.0	95.9	—	—
8月末	9,841		0.0	97.5	—	—
9月末	9,836		△0.0	98.7	—	—
10月末	9,814		△0.3	97.7	—	—
11月末	9,804		△0.4	96.7	—	—
12月末	9,787		△0.5	84.6	—	—
2019年1月末	9,791		△0.5	90.9	—	—
2月末	9,788		△0.5	92.0	—	—
3月末	9,778		△0.6	82.2	—	—
4月末	9,772		△0.7	74.1	—	—
5月末	9,756		△0.8	14.0	—	—
(償還時) 2019年6月21日	(償還価額) 9,749.24		△0.9	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第5期：2014年6月30日～2019年6月21日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第5期末	9,749.24円
既払分配金	0円
騰落率	-2.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ2.5%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国社債市況が上昇したことや債券利子収入を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

デフォルト等への懸念が高まったと判断した銘柄について、他の銘柄への入れ替えを実施した結果、一部の保有銘柄について100を下回る価格で売却し、損失を確定させたこと等が基準価額の下落要因となりました。また、ヘッジコストの上昇や信託報酬等についてもマイナス要因となりました。

第1期～第5期：2014年6月30日～2019年6月21日

投資環境について

債券市況

信託期間を通じて見ると、米国社債市況は上昇となりました。

原油価格が下落する中でスプレッド（国債に対する上乘せ金利）が拡大したこと等はマイナスとなったものの、米国長期金利が低下したことや米国株式市況が堅調に推移したこと等がプラスとなり、米国社債市況は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

信託期間を通じて、米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とするとともに、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、信用リスクに配慮しつつ発行体のファンダメンタルズに照らして相対的にクレジット・スプレッドが厚く、投資妙味があると見られる債券を主な投資対象としました。また、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、原則として償還まで保有するバイ・アンド・ホールド戦略を採用した運用を行いました。

第5期（2018年6月26日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、ファンド償還に向けて2019年3月以降保有資産の売却をする等し、安定運用に切り替えました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ 償還価額

償還価額は9,749円24銭となりました。
信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2018年6月26日～2019年6月21日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	105	1.068	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(53)	(0.545)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.481)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.029	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.024)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	108	1.097	

期中の平均基準価額は、9,802円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月26日～2019年6月21日)

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 3,661	千アメリカドル 3,885 (11,921)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月26日～2019年6月21日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	11,829	3,673	31.1	10,434	3,314	31.8
為替直物取引	111	—	—	1,523	372	24.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月21日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年6月21日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 970,906	% 100.0
投資信託財産総額	970,906	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2019年6月21日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	970,906,157
コール・ローン等	970,906,157
(B) 負債	5,131,308
未払信託報酬	5,105,660
未払利息	5,776
その他未払費用	19,872
(C) 純資産総額(A-B)	965,774,849
元本	990,615,554
償還差損金	△ 24,840,705
(D) 受益権総口数	990,615,554口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,749円24銭

<注記事項>

- ①設定年月日 2014年6月30日
 設定元本額 2,591,514,859円
 期首元本額 1,430,260,406円
 元本残存率 38.2%
 また、1口当たり純資産額は、期末0.974924円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は24,840,705円です。

③信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2018年6月26日～2019年6月21日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	44,230,655
受取利息	43,054,355
その他収益金	1,266,871
支払利息	△ 90,571
(B) 有価証券売買損益	△ 41,814,554
売買益	165,812,193
売買損	△207,626,747
(C) 信託報酬等	△ 12,590,540
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 10,174,439
(E) 前期繰越損益金	△ 23,034,671
(F) 解約差損益金	8,368,405
償還差損金(D+E+F)	△ 24,840,705

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年6月30日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年6月21日			資 産 総 額	970,906,157円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	5,131,308円	
受益権口数	2,591,514,859口	990,615,554口	△1,600,899,305口	純 資 産 総 額	965,774,849円	
元 本 額	2,591,514,859円	990,615,554円	△1,600,899,305円	受 益 権 口 数	990,615,554口	
				1万口当たり償還金	9,749円24銭	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	2,455,957,446円	2,403,266,232円	9,785円	0円	0%	
第2期	2,238,157,195	2,194,025,730	9,803	0	0	
第3期	1,824,723,502	1,814,682,330	9,945	0	0	
第4期	1,430,260,406	1,407,225,735	9,839	0	0	
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				△250円76銭	-	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,749円24銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。